国民健康保険功労者で
藤原所長、県知事表彰に

村歯科診療所長の藤原秀世所長(56)がこのほど国民健康保険功労者として県知事表彰を受賞しました。

表彰状を手にする藤原秀世歯科診療所長

藤原所長は、昭和61年から現在まで21年間の長きにわたり、村歯科診療所の医師として、地域医療の推進に尽力された功績で受賞しました。

藤原所長は「長年、村民の皆さんのご理解とご支援のおかげだと思っております。これからも普代村の地域医療に少しでもお役に立てますよう頑張っていきたいと思います」と話していました。

表彰式は8月31日、盛岡市の「アイーナホール（いわて県民情報交流センター）」で行われ、藤原所長は「岩手県国保制度充実強化フォーラム」の席上で表彰されました。

わたしの主張久慈地区大会
内野沢さん(普中3年)が最優秀賞に

わたしの主張久慈地区大会（同実行委など主催）は8月28日、野田村の野田中学校で開かれ、「おじいちゃんからの伝言」と題して発表した普代中3年の内野沢さつきさんが最優秀賞に選ばれました。

久慈地区代表に選ばれた内野沢さつきさん

久慈地域15中学校の16人が発表。内野沢さんは、一昨年亡くなった祖父になにもしてあげれなかったことを悔いていましたが、自分たちが演じた神楽を喜ぶ老人ホームのお年寄りの姿に祖父の笑顔を重ね、神楽への意欲を取り戻したと言います。この経験をもとに「だれかのためになにかをしてあげる素晴らしさ。それが言葉の不自由だった祖父が残してくれた伝言」と述べました。

内野沢さんは9月26日、滝沢村チャグチャグホールで開かれる県大会に久慈地区代表として出場します。

全力プレーに充実感
普代中学校で体育祭

普代中学校（木村利光校長、生徒97人）の体育祭が8月26日、同校グラウンドで行われました。競技は全校での紅白エール交換で始り、騎馬リレー、男女綱引き、紅白全員リレー、ムカデ競争など20種目を一人一人が全力でプレー。父母らが応援する中、若者パワーを爆発させていました。

紅白応援合戦で水をかぶり気合いを入れる男子生徒

応援合戦では、3年生が水を頭からかぶり気合いを入れるシーンもあり、熱気あふれる応援合戦が繰り広げられました。

ゴールは間近。全力疾走！（最強リレー）

閉会式で生徒会長の深渡春香さん(3年)は「短い準備期間でしたが、今までで一番盛り上がり、学校が一つになった体育祭でした。わたしたちのこれからの道標になったと思います」と感想を述べました。

みんなが一致団結して取り組んだ体育祭。日焼けした顔には一つのことをやり遂げた充実感がありました。

黒崎Aが2連覇飾る
53回村長旗野球大会

大会2連覇を果たした黒崎Aチーム

お盆恒例の村長旗争奪地区対抗野球大会が8月14、15の両日、北緯四〇度運動公園野球場と村民グラウンドを会場に行われ、黒崎Aチームが大会2連覇を果たしました。

今年は昨年より2チーム多い14チームが参加。それぞれのグラウンドでは応援団も駆け付け、真夏の日差しが照りつける中、熱戦が展開されました。

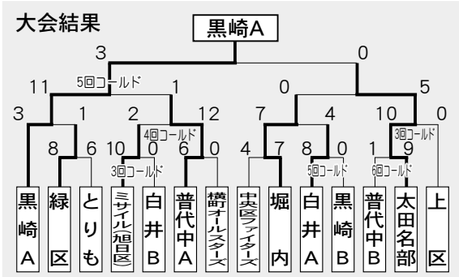
真夏の日差しが照りつける中、熱戦が展開されました

優勝した黒崎Aチームは、1回戦はシードで2回戦に進み緑区チームと対戦。3―1で勝利し、準決勝では普代中Aチームを11―1、5回コールドで下し決勝へ駒を進めました。

決勝戦は太田名部チームとの対戦。3回裏に黒崎Aチームが2点を奪い、5回裏にも1点を追加し3点をリード。守っては守備陣にもミスがなく、3―0と完封勝利を収めました。

黒崎Aチームの下坪福志監督(49)は「優勝しなければというプレッシャーもありましたが、地域のみんなの応援が後押しとなって、選手の力になりました」と優勝を喜んでいました。

大会結果



4回普代浜ビーチバレー大会
炎暑の浜でスパイク

120人が参加し行われたビーチバレーボール大会

今年で4回目の普代浜ビーチバレーボール大会（同実行委主催）が8月5日、普代浜海水浴場で行われ、灼熱の砂浜で熱戦を繰り広げました。

今年は盛岡市や青森県八戸市からも3チームが参加し、昨年より4チーム多い22チーム約120人が出場しました。

選手たちは白い砂浜で思い切りよくレシーブしたり、豪快にスパイクを打ち込んだりと、珍プレー、好プレーが続出。ボールを追って懸命に砂のコートを走り回っていました。

村バレーボール協会の森田一会長は「参加チームも徐々に増え、やっと大会が定着してきました。これからも普代浜の夏のイベントとして盛り上げたいと思います」と話していました。

3位までの結果は次のとおりです。

①カテナチオ（盛岡市）②チーム：ジャム爺（青森県八戸市）③板尾の小姑（洋野町）

水しぶき上げ自分に挑戦!!
村水泳記録会

第3回普代村水泳記録会が9月2日、村B&G海洋センターで行われ、小学生が水しぶきを上げそれぞれが自己の記録に挑戦しました。

記録会には小学生104人が参加。競技はビート板キックや平泳ぎ、クロールなどで25メートルのタイムを競いました。

自己記録に挑戦した水泳記録会

会場にはお母さんら約70人が応援に駆け付け、「もう少しよ、頑張ってー！」など声援が飛び交い、懸命にゴールする子どもたちに盛んに拍手を送っていました。